

[第44号]

かけはし

若松地域づくり協議会

見ている児童の絵が～行動を! 「ゴミのポイ捨てゼロ」ポスターを活かしたまちづくり

一昨年より、ゴミのポイ捨てゼロ運動の一環として取組んでいます若松小学校児童対象の絵画コンクールに、本年度は51点の力作が寄せられました。

一月下旬に、審査委員長：荒木万里氏（日本絵手紙協会公認講師）をはじめ、若松小学校・池田校長先生、当会の役員を含めたメンバーで審査を行いました。

優秀作品5点、佳作12点を選び、その中からポスターの原図に使用する最優秀賞には、5年生の岸本楓加さんの作品（右写真）、特別賞に5年生の三田花さんの作品（海岸線重点掲示）を選びました。

作成されたポスターは、町内の自治会掲示板、公共施設、若松駅や町内のお店、漁港などに掲示して啓発活動をおこなっています。

なお、入選者の表彰式は3月18日（土）当会役員会にて執り行いました。（3月上旬から、若松公民館内に入選作品（17点）を展示しました）



入選児童の皆さん
おめでとうございます



賞名	氏名	学年	賞名	氏名	学年
最優秀賞	岸本 楓加	5年生	佳作	松下 侑晟	5年生
特別賞	三田 花	5年生	佳作	西岡里佐子	5年生
優秀賞	原 悠晴	1年生	佳作	石黒 由菜	5年生
優秀賞	佐藤 育	5年生	佳作	国分 咲良	5年生
優秀賞	岡崎 瞳	6年生	佳作	田端 心陽	5年生
佳作	紺谷 奏太	2年生	佳作	西岡 美咲	5年生
佳作	中井 伊咲	4年生	佳作	松浦 涼真	5年生
佳作	井上真唯菜	5年生	佳作	浅井 健斗	5年生
佳作	橋本 悠	5年生			学年は令和4年度在籍学年です。

たのもしく・やさしいまちの“おまわりさん” まちの安全・安心を守ってくれた松崎さん 三年間ありがとう。



鈴鹿警察署若松駐在所に勤務していました松崎聰司さんが、3月で勤務地が亀山の方に替わりました。

松崎さんは、前代未聞のコロナ禍であった3年間を若松で勤務していただききました。

まちの“おまわりさん”で親しまれていた松崎さん、いつも私たちの安全な生活を守ってくれました。特に、就労時間外でも児童の通学時の見守りや散歩を兼ねたまち廻りでの声かけなど、若松の住民に寄り添ってくれました。

松崎さん有難うございました。

その様な功労に応え、当会より住民の総意として感謝の意を示し『感謝状』をお渡しました。授与は、3月8日(水)若松駐在所内で原田吉次会長より直接、松崎さまにお渡し致しました。

新しい勤務地での、一層のご活躍を祈念いたします。

松崎様からのメッセージ

前代未聞のコロナ禍、その三年間が若松の地での勤務でした。

色々な面で住民の生活にも不安が募る流れでした。そんな中、できる限り若松の住民に寄り添いながら不安を解消し、安全、安心で生活できるまちづくりに努めてきました。

子どもや老人の方からの「おまわりさん。ありがとう!」の声が、最大の励みになりました。元気で活力のあるまち“若松”的皆さま、三年間有難うございました。



「ゴミのポイ捨てゼロ」ポスターの総評 地域美化につなげよう子供達の絵を



審査委員長 日本絵手紙協会公認講師 荒木 万里

海に近い若松ならではの美しい海中をイメージした絵やゴミ集積所の分別を分かりやすく描いた絵、ポイ捨て防止の意識を高める人物を描いた絵など、あらゆる視点から個性豊かに鮮やかな色彩で丁寧に彩色された優れた作品が多く寄せられました。

今年の最優秀賞は斬新な構図と赤い標語のインパクトが目に焼き付く絵を選ばせていただきました。特別賞は、リールにゴミを釣り上げたユーモアたっぷりの絵を選びました。港や海岸線沿いの看板として活用し、美しい景観づくりにつながると信じています。

子供達の絵で美化の意識が高まり、若松の町が美しく住みやすい町となってくれるように願っています。